

学校法人イーエスピー学園

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京



## 2023 年度 自己評価 報告書

評価基準日 2024 年 3 月 31 日

評価対象期間 自：2023 年 4 月 1 日 至：2024 年 3 月 31 日

### ◇評価項目◇

1. 理念・目的・育成人材像
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の募集と受入れ
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域貢献

## 自己評価委員会 構成

- ・委員長 村本 英之（校長） 出席
- ・委員 三井 幸孝（副校長） 出席
- 金 えい（事務局、留学生担当） 出席
- 岩田 菜里（企画広報課） 出席
- 桑原 康希（教務課） 出席
- 菊池 一行（教務課） 出席

### 1. 学校の教育目標

#### 【建学の精神】

音楽を創造することを通じて豊かな人格を形成し、さらに自己の可能性を追求する人材の育成。

#### 【教育の理念】

建学の精神に基づき、エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。

#### 【目的】

当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。

#### 【育成人材像】

感動を創造できる人材を育成する。それは以下のような人材像である。

1. 好奇心を持ち続け、常に課題（テーマ）を見つけ、解決することができる人材
2. 初心を忘れず、常に目標（夢）を持ち、達成し続ける人材。
3. コミュニケーションをとり、仲間と仕事をやり遂げることができる人材。

#### 【運営方針】

- ・教育の理念に基づき、講師、設備、カリキュラム等、教育環境の充実を図る。
- ・学生との緊密な関係を築いていくために最大限の支援体制を構築する。

### 2. 本年度に定めた重点目標や計画

- ① 現場主義に即したイベント研修、外部イベント研修等への参加体制強化
- ② 進級率・卒業率を向上させるための学生サポート体制強化
- ③ 円滑な授業運営の土台となる実習室、教室の環境整備

---

## 1. 理念・目的・育成人材像

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
1-1	<b>【理念・目的・育成人材像は定められているか】</b> ・教育理念、目的、育成人物像を前述の「1. 学校の教育目標」に記載の通り定めております。	4
1-2	<b>【育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか】</b> ・現場第一主義を掲げ業界実務経験の豊富な教員を多数採用していることにより、ダイレクトに業界のニーズをとらえ業界に適合する人材を育成していると自負しています。	4
1-3	<b>【理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】</b> ・USAの姉妹校 MI Hollywood オリジナルの教科書を使用し、様々な音楽業務の経歴を持つ講師のアイデアを活かした選択授業、ライブアンサンブル授業、一人一人にじっくり向き合うことのできるオープンカウンセリングまで、非常にユニークで幅広い授業形態のもと人材育成に取り組むことができています。	4
1-4	<b>【社会のニーズ等を踏まえた将来構造を抱いているか】</b> ・移り変わりの激しさがエンタテインメント業界の特色であり、近年はさらに大きな転換期を向かえています。進化するエンタテインメント業界を見据えて、オープンカウンセリング、選択科目を中心とした多種多様な応用力を養う授業をさらに充実させていく計画があります。	4

---

## 2. 学校運営

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
2-5	<b>【理念等に沿った運営方針を定めているか】</b> ・学校の教育目標の下部に記載の通り運営方針を定めており、本法人の理念や目的に沿った方針であると認識しています。	4
2-6	<b>【運営方針に沿った事業計画を定めているか】</b> ・予算を含めた年度毎の計画が立てられ、実施しております。	4

2-7	<p><b>【運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化し有効に機能しているか】</b></p> <p>・理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催され、必要な審議を行い、議事録を作成、格納しています。</p>	4
2-8	<p><b>【人事、給与に関する制度は整備されているか】</b></p> <p>・「就業規則 他 関連規定集」をファイリングし、職員全員が閲覧できるようにしています。昇進・昇給の基準、及び人事考課制度を新たに検討し、年3回の人事考課を実施する際に、業績や業務内容、業務に取り組む姿勢等に応じて評価、及びフィードバックを実施していきます。</p>	4
2-9	<p><b>【情報システム化等による業務の効率化が図られているか】</b></p> <p>・ネットワークシステムを構築し、都外の姉妹校を含め連絡事項やスケジュールの共有等の社内連絡がスムーズに行うことができます。</p> <p>・入学希望者の個人情報から学生情報である成績出席の管理を、一つのアプリケーションに集約し効率化が図られています。</p>	4

### 3. 教育活動

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
3-10	<p><b>【教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか】</b></p> <p>・エンタテインメント業界の最新動向の把握に努め、現状に合った知識や技術を習得することに注力しています。このような編成方針、実施方針を反映したシラバスを、本校のホームページで公開しています。</p>	4
3-11	<p><b>【学科毎に修業年限に対応した教育達成レベルを明確にしているか】</b></p> <p>・1年生に対しては進級条件、2年生に対しては卒業条件をそれぞれ定めています。また、全授業の到達目標を記載したシラバスを、本校のホームページで同様に公開しています。</p>	4
3-12	<p><b>【教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか】</b></p> <p>・現行の教育課程は本校の目的に沿ったものだと認識しています。</p>	4
3-13	<p><b>【教育課程について外部の意見を反映しているか】</b></p> <p>・(株)ESPや他企業様と合同イベントや特別ゼミを行う回数が増えたことにより、多くのご意見をいただきました。少しずつ授業に反映させていくことにより、現場に近い教育課程に近づいていると自負しております。</p>	4
3-14	<p><b>【キャリア教育を実施しているか】</b></p>	4

	・全ての授業は職業に直結する知識と技術を習得できる内容であると自負しています。	
3-15	<b>【授業評価を実施しているか】</b> ・定期的に学生と個別ガイダンスを実施することで、授業に関するヒヤリングを行ってきました。また、教員リーダーと学科担当職員による定期会議を実施し、授業の進行状況や学生の到達目標等の確認を行ってきました。	3
3-16	<b>【成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか】</b> ・進級判定、卒業判定、成績評価、出席率の基準等をまとめたガイドブックを作成し、年度初めのガイダンスで学生に配布・説明し各基準に沿った運営を行っています。	4
3-17	<b>【作品及び技術等の発表における成果を把握しているか】</b> ・期間毎に蓄積された知識技術の確認としての発表会を開催し、教職員が学生の成長を確認できる環境を作ってきました。	4
3-18	<b>【資格取得に関しての方針は教育課程で明確に位置づけているか】</b> ・本校のホームページで公開しているシラバスに明記しています。	4
3-19	<b>【資格取得の指導体制はあるか】</b> ・試験資格取得支援の授業を担当する教員は、同資格保有者または同分野の実務経験のある教員が担当しています。	4
3-20	<b>【資格要件を備えた教員を確保しているか】</b> ・学校教育法上の欠格事由、並びに東京都暴力団排除条例等（反社排除）に定義される規制対象者に該当しないこと、及び専修学校設置基準に定められている要件を満たしているか確認し、教職員選考・採用規程に従い面接等所定の審査を行って採用しています。	4
3-21	<b>【教員の資質向上への取組を行なっているか】</b> ・資質向上を目的とした教職員によるコースミーティングを、継続して実施できたコースとできなかったコースがあったため、来年度は学校として一貫した取り組みを行っていきたいと考えています。	2
3-22	<b>【教員の組織体制を整備しているか】</b> ・設置学科には運営担当の職員とコース毎のリーダーを配置しています。	4

## 4. 学修成果

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価
4-23 <b>【就職率の向上が図られているか】</b> ・学生との個別面談内で進路調査を行っています。それぞれのキャリアプランを把握する	4

	<p>ことで個々の将来に寄り添った就職活動の提案を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹校の求人情報を積極的に共有し、就職希望者の数倍以上の求人数を確保し就職率の向上を図っています。</li> </ul>	
4-24	<p><b>【資格取得率の向上が図られているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レコーディング作業に欠かせないAVID Pro Toolsのオフィシャル認定試験(Pro Tools Avid Certified User試験：ProTools101/110)の試験会場を学内で開催できるよう申請調整し、受講しやすい環境を提供しています。</li> </ul>	4
4-25	<p><b>【卒業生の社会的評価を把握しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生等、特定の学生においては卒業後のネットワークを維持し、現在の状況を把握できていますが、もう少し拡大させていきたいため、今後はSNS等も使い、活動状況の把握と応援していきたいと考えています。</li> </ul>	2

## 5. 学生支援

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価
<p>5-26 <b>【就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹校と合同で学生支援課としてデビューサポートセクション、キャリアサポートセクションを整備し運営しています。</li> </ul>	4
<p>5-27 <b>【退学率の低減が図られているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率の低下が見受けられた学生には電話、メール連絡のうえ時期を問わず面談を行っています。休みの理由や個人的な悩みにいたるまで話を聞いて出席率改善に努めています。</li> <li>・学生からの相談事項は、教職員間で共有検討し個人個人に最良の改善策を実施しています。</li> </ul>	3
<p>5-28 <b>【学生相談に関する体制を整備しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在学生全員に年 2 回の個別面談を行い、授業内容や健康状態、友人関係等の学校生活にかかわる相談を受け学生と教職員間で概ね良好な関係を築いています。</li> </ul>	4
<p>5-29 <b>【留学生に対する相談体制を整備しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校と隣接する姉妹校合わせて複数名の外国人職員、留学経験を持つ職員等が在籍していることで、いつでも気軽に相談できる体制があると自負しています。</li> </ul>	4
<p>5-30 <b>【学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の経済的支援としては、兄弟姉妹特別奨学金、留学生への奨学金制度を整備しています。国の教育ローンや奨学金制度等を利用するための案内サポートを行っています。</li> </ul>	4

5-31	<b>【学生の健康管理を行う体制を整備しているか】</b> ・年度始に全学生を対象とした健康診断を実施しています。	4
5-32	<b>【学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか】</b> ・遠隔地から就学する学生には、学生寮、学生マンション運営企業と業務提携して居住情報の提供に努めています。	4
5-33	<b>【課外活動に対する支援体制を整備しているか】</b> ・ミュージシャンの活動に欠かせないライブハウスへの出演時は、キャリア活動と同等という考えから公欠とできる規定があります。	3
5-34	<b>【保護者との連携体制を構築しているか】</b> ・全学生の保護者連絡先を学校内データベースに管理しています。 ・休みがちな学生に関しては保護者と協力の基に出席改善を行っています。	4
5-35	<b>【卒業生への支援体制を整備しているか】</b> ・学生支援課のデビューサポートセクション、キャリアサポートセクションは卒業後も在校生と同様に利用することができる大きな特徴となっています。	4

## 6. 教育環境

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
6-36	<b>【教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか】</b> ・実習授業で使用する機材に関しては同業界において、定番から最新のものまで幅広く設置し最適な環境を提供できていると考えています。 ・校内には無線LANを整備し学生全員にタブレットを配布、本校ドメインの個別メールアドレスを付与しています。授業で使用するデータ送受信が容易に行える環境を整備しています。	4
6-37	<b>【学内外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか】</b> ・毎日行われているライブアンサンブル実習は、本校が提供している教育環境の一番の特色であると考えています。 ・就職希望者に向けては姉妹校と合同設置しているキャリアサポートセクションを通して、インターンシップを活用することができます。 ・海外に設置している姉妹校、MIハリウッド研修旅行の実施体制を整備しています。	4
6-38	<b>【防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか】</b>	2

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎は耐震化に対応済みであり、消防設備の保守点検を法令に基づき行っています。</li> <li>・防災計画、及び関連マニュアルの整備は、内容の更新、拡充が必要であると判断し、改定版の作成を進めています。改訂版完成後に教職員及び学生への周知を行う予定です。</li> </ul>	
6-39	<p><b>【学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・災害対策マニュアル、危機管理マニュアル等を策定し整備しているところではありますが、内容の更新、拡充が必要であると判断し、改定版の作成を進めています。改訂版完成後に教職員及び学生への周知を行う予定です。</li> <li>・衛生管理者による巡回、指導を実施し、安全管理に対する意識付けと環境整備をを常時行っています。</li> </ul>	2

## 7. 学生の募集と受入れ

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
7-40	<p><b>【高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取組を行っているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校等の進路説明会へ積極的な参加や楽器店と高校訪問を行い、軽音部向けのレッスンを通して教育活動等の情報提供を定期的に行いました。また、静岡県高等学校軽音楽大会の審査員として本校講師が参加し、現役プロから指導を行うなど貢献して参りました。</li> </ul>	4
7-41	<p><b>【学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動の主要ツールとなる学校案内、募集要項等を作成し、コース毎の教育活動、学習成果等について明確に紹介しています。また、ホームページでは学校案内以上の詳細内容を紹介し、あわせてSNSを積極的に活用することで学校生活におけるタイムリーな情報を発信してきました。</li> <li>・学生募集活動の重要な位置付けとなるオープンキャンパス開催を定期的に行い、必ず来校者アンケートを実施し、次回開催に向けてアンケートの内容から問題点があれば検証し改善を行ってきました。</li> </ul>	4
7-42	<p><b>【入学選考基準を明確化し適切に運用しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学に関しての選考基準を明確に定め、学校案内送付の際に同封する「募集要項」にて明確化しています。募集要項に沿った運用を年間通して行ってきました。</li> </ul>	4
7-43	<p><b>【入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格率、辞退率のデータを毎年蓄積していますので、入学者の人数を把握し、それを元に教室割りなどの授業の方法等を適宜検討し実施しています。</li> </ul>	4



7-44	<p><b>【経費内容に対し学納金を算定しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学納金の算定内容、決定過程は明確にし、学則変更、及び学納金変更申請時に提出しています。学納金の水準は適宜把握に努めています。</li> <li>・学校案内、募集要項、ホームページ等に学納金等徴収する金額を全て明記しています。</li> </ul>	4
7-45	<p><b>【入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願後の入学辞退者への授業料返還に関して、学校案内送付の際に同封する「募集要項」に記載し実施しています。</li> </ul>	4

## 8. 財務

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価	
8-46	<p><b>【学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか】</b></p> <p>自己資金で設備投資を行うなど、財務基盤は安定している。</p>	3
8-47	<p><b>【学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか】</b></p> <p>継続的に財務分析を行い、財務基盤の安定を図っている。</p>	4
8-48	<p><b>【教育目標の整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか】</b></p> <p>各部署から当該年度の予算を提出し、それらを精査する段階で事業計画との整合性を図り、編成したものを評議員会の諮問を経て、理事会の承認を取っている。</p>	4
8-49	<p><b>【予算及び計画に基づき適切に執行管理を行っているか】</b></p> <p>事業計画の予算に対して、決算で大きな乖離は生じていない。予算執行にあたっては上申書、立案書などを理事長が最終承認を行う体制を執っている。</p>	4
8-50	<p><b>【私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事による監査を実施し、理事会において報告が行われている。</li> </ul>	4
8-51	<p><b>【私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し適切に運用しているか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務情報を当学園ホームページに公開を行っている。</li> </ul>	4

## 9. 法令等の遵守

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価
9-52 <b>【法令や専修学校設置基準等を遵守し適正な学校運営を行っているか】</b> ・学則改正は適宜所轄庁へ届出を行っており、都から承認されている寄附行為に則して理事会・評議員会を開催、実施して学校運営を行っています。各種規程、及びマニュアル等を法令に則した形で整備し適切に運用している事で、高等教育の修学支援新制度の対象機関として認められています。	4
9-53 <b>【学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策を実施しているか】</b> ・個人情報の保護に関する法律に則して個人情報保護規程を整備し、適切に運用しています。	4
9-54 <b>【自己評価の実施と問題点の改善に努めているか】</b> ・自己評価を実施し公表を行い、評価結果からいくつかの問題点の改善を行うことができましたが、着手できていない項目もあり次年度の課題として取り組んでいきます。	3
9-55 <b>【自己評価結果を公表しているか】</b> ・本校ホームページで公表しています。	4
9-56 <b>【学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか】</b> ・自己評価と同様に本校学則に明記して学校評価実施規程を整備し、関連業界や卒業生、及び保護者等から委員にご就任いただき学校関係者評価委員会を毎年度実施しています。	4
9-57 <b>【学校関係者評価結果を公表しているか】</b> ・本校ホームページで公表しています。	4
9-58 <b>【教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか】</b> ・本校ホームページで全授業のシラバス、卒業と進級に関してのポリシー、GPA制度等の教育情報を公表しています。	4

## 10. 社会貢献・地域貢献

◇自己採点◇ 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

点検項目	点検評価
10-59 <b>【学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか】</b>	2

	<p>るか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献として近隣の清掃活動を週1回実施しています。</li> </ul>	
10-60	<p>【学生のボランティア活動を奨励、支援しているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に学校として積極的に奨励することはしていないが、学生より活動の申し出のあった際には、授業の調整や公欠等の活動支援を検討することとします。また、有意義な学生生活につながる案件をいただいた際は積極的に案内していきたいと考えています。</li> </ul>	1
10-61	<p>【地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか】</p>	1

### 3. 本年度に定めた重点目標や計画に対して

- ① 現場主義に即したイベント研修、外部イベント研修等への参加体制強化
- ② 進級率・卒業率を向上させるための学生サポート体制強化
- ③ 円滑な授業運営の土台となる実習室、教室の環境整備

3つの目標に関しておおむね達成できたと自負しております。進級・卒業率の数値的向上こそ達成できませんでしたが、学生に対するサポート方法を明確にして対応することができたと感じております。また、実習室、教室の環境整備に関して、使用される機材のニーズが常に変化し続けることもあり、継続して環境整備に取り組んでいきます。

### 4. 来年度重点目標・計画

1. 消防・防災に対する組織体制、および、学内における安全管理体制を整える
2. 学校施設を活用した地域貢献・社会貢献、および、地域に対する課外活動の実施
3. SNS を活用した卒業生ネットワークの構築